

職員研修事業

【総務局 人事課】

【事業概要】

- ・職員が公務員としての使命と責任を自覚し、市民本位の立場を堅持し、職務遂行能力を高めることにより、市民の信託に応える職員を育成するため、各階層別を実施する基本研修、専門的知識及び技能を習得させる専門研修等の研修を実施する。
- (基本目標：信頼とやさしさのある共創のまち / 基本施策：自主的・自律的な行財政運営の推進 / 単位施策：人材育成の推進)

【事業評価】 ⇒ A：継続

職員の職務遂行能力の向上及び市民から信頼される職員の育成に必要な事業である。
なお、今後もより一層、時勢に合わせた内容やICTを活用した手法の見直しに努めること。

(インプット) → (アクティビティ) → (アウトプット) → (アウトカム)

R元年度：25,559千円
R2年度：12,044千円
R3年度：12,514千円

研修の実施

地方公務員法の規定により、
昭和31年から実施

- 基本研修
 - ・一般職員研修
 - ・監督者研修
 - ・管理職研修
- 専門研修
- 派遣研修 など

各年度の実施件数内訳

年度	基本研修	専門研修	その他研修
R1	31	37	3
R2	17	33	3
R3	23	22	3

研修の修了者数 (延べ人数)

R元年度：3,401人
R2年度：1,822人
R3年度：2,908人
※目標値＝実績値

職員研修実施件数

年度	目標値	実績値	達成率
R1	70	71	101%
R2	70	53	76%
R3	70	48	69%

(初期) 研修内容に対する理解が深まる

【今後の数値目標について】
これまで、研修後のアンケートにおいて「研修が適切だったか」の項目は設けていたが、4年度途中から項目を見直し、「研修内容に対する理解度（研修後のアンケートにおける「理解した」割合）」の数値目標を今後設定

(中・長期) 職員の職務遂行能力の向上及び 市民から信頼される職員の育成

(インパクト)

多様化する市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応し、効率的で質の高い行政サービスを展開

【これまでの見直し実績 (R1～)】

- ・コンプライアンス研修 (eラーニング) を追加
- ・新任係長研修 (コーチング研修) に、フォローアップ研修を追加 (R2～)
- ・採用3年目、5年目研修に市長講話を追加 (R3～)
- ・新任課長研修に男女共同参画社会と本市の取組を追加 (R4～) など

グリーン・ツーリズム施設管理事業

【観光交流局 世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課】

【事業概要】

- ・都市と農村地域の交流促進を図るため、農産物直売所を核とする各グリーン・ツーリズム施設（輝楽里よしだ館、火の島めぐみ館、八重の里）について、ソフト面・ハード面の充実を図るとともに、施設の維持管理を行う。
（基本目標：魅力にあふれ人が集う 活力あるまち / 基本施策：地域特性を生かした観光・交流の推進 / 単位施策：オンリーワンの魅力創出）

【事業評価】 ⇒ A：継続

都市と農村地域の交流促進や生産者の所得向上などに必要な事業である。

なお、アフターコロナの対応検討の他、民間活力の活用の観点から施設の中長期的なあり方についても検討すること。

（インプット）

R元年度 : 5,638千円
R2年度 : 6,527千円
R3年度 : 7,395千円

（アクティビティ）

【施設の維持管理】

- ・施設修繕
- ・浄化槽維持管理
- ・トイレ清掃
- ・除草業務 等

※農産物直売所の運営は地元農家を中心とした組合

（アウトプット）

【施設の開所日数】

年度	目標値	実績値	達成率
R1	1,012	1,007	99.5%
R2	1,010	963	95.3%
R3	1,010	738	73.1%

※コロナの影響による休館は次のとおり
R2年度：44日間
R3年度：36日間

（アウトカム）

【3施設の利用者数】

年度	目標値	実績値	達成率
R1	242,899	211,380	87%
R2	248,728	148,547	60%
R3	254,698	157,892	62%

【3施設の売上額】

目標値：前年度比2.4%増
（グリーンツーリズム推進計画に基づく）

（単位：千円）

年度	目標値	実績値	達成率
R1	299,002	274,340	92%
R2	306,178	179,567	59%
R3	313,526	197,088	63%

（インパクト）

- ・都市と農村地域の交流促進
- ・地元農産物生産者の所得向上
- ・農村地域の活性化

施設の大半を行政財産の目的外使用にしている。
今後、民営の農産物直売所とのバランスも考慮する必要がある。

火災予防思想啓発「消防スケッチ大会」事業

【消防局 予防課】

【事業概要】

- ・ 少年期の火災予防に対する意識付けや、広く市民に火災予防思想の啓発を図るため、「消防スケッチ大会」を開催し、優秀作品を活用したポスターの作成・配付等を行うほか、一日消防署長や作品展示会を実施する。
- (基本目標：自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち / 基本施策：命を守る危機管理・防災力の向上 / 単位施策：質の高い消防力の強化)

【事業評価】 ⇒ A：継続

消防に対する興味の深化や火災予防思想の普及啓発に必要な事業である。
 なお、より効果的な事業となるようICTを活用した広報・啓発に努めること。

(インプット)

R元年度：264千円
 R2年度：255千円
 R3年度：241千円



(アクティビティ)

- ・ スケッチ大会の開催(年1回・定員200人)
- ・ 優良作品の選出及び表彰
- ・ 防火ポスター作成・配付
- ・ 作品展示会
- ・ 最優秀賞児童に1日消防署長を委嘱し、広報活動を実施



(アウトプット)

■ スケッチ大会参加者数

(参加者数)

R元年度：265人
 R2年度：－
 R3年度：342人

※目標値＝実績値

※参加者は当日の申込者・保護者・兄妹含む
 ※R2は緊急事態宣言のため、中止

■ 作品展示会の実施 (回数)

年度	目標値	実績値	達成率
R1	2	2	100%
R2	2	2	100%
R3	2	2	100%

※イオン・山形屋

■ 防火ポスター配付数

(小学校・防火協力会)

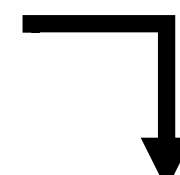
年度	目標値	実績値	達成率
R1	88・708	88・708	100%
R2	88・708	88・708	100%
R3	88・708	88・708	100%

※市内の全小学校・防火連へ配付

■ 1日消防署長等の広報活動

消防演習の指揮やチラシ配布等

コロナ禍において大会の規模や回数の拡大が図れない中で、より広報効果を高めていく取組が必要



(アウトカム)

・ 消防に対する興味の深化

■ 第六次総合計画指標「災害に強いまちである」と感じる市民の割合

年度	目標値	実績値	達成率
R3	50	36	71%

・ ポスター、展示会による小学校児童、防火協力会加入世帯、市民への広報

■ 1日消防署長等による広報効果 (取材回数)

年度	目標値	実績値	達成率
R1	2	7	350%
R2	2	7	350%
R3	2	8	400%

(TV: 5回、新聞社: 2回)
 (TV: 5回、新聞社: 2回)
 (TV: 5回、新聞社: 2回、ラジオ: 1回)

(インパクト)

・ 市民への火災予防思想の啓発

